

次世代スーパーコンピュータ概念設計評価作業部会における
配布資料の取り扱いについて（案）

本日（第7回）の作業部会にて配布する

資料 7-2 次世代スーパーコンピュータのシステム構成案と検討経緯
（改訂版）

については、「秘密情報の取り扱いについて」（平成19年3月12日 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 情報科学技術委員会 次世代スーパーコンピュータ概念設計評価作業部会 決定）における秘密情報に該当する。

本来、秘密情報に該当する資料については、会議終了後回収すべきものであるが、作業部会における評価作業を円滑かつ効率的に実施する観点から、同決定3．雑則に基づき、委員が当該資料の厳重な管理を行うことを条件として、例外的に次世代スーパーコンピュータの概念設計に関する評価票の記入の終了後に回収する扱いとする。

秘密情報の取り扱いについて

平成19年3月12日

科学技術・学術審議会

研究計画・評価分科会

情報科学技術委員会

次世代スーパーコンピュータ

概念設計評価作業部会 決定

次世代スーパーコンピュータ概念設計評価作業部会(以下、本作業部会という)においては、最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用におけるハードウェアのシステム構成案に係る評価(以下、本目的という)を行うに際し、理化学研究所から秘密情報の提示を受けることに伴い、国家公務員法第百条に規定される秘密を守る義務を果たすため、その取り扱いの対象や方法を以下の通り決定する。

1. 秘密情報として取り扱う対象

本作業部会における取り扱いの対象となる秘密情報は次の通りとする。

(1) 本作業部会が理化学研究所より本目的のために以下の方法で提示を受ける全ての情報。

(ア) 秘密である旨を表示した書面で提示を受ける方法。

(イ) 秘密である旨を明示して口頭又はプレゼンテーション等により提示を受ける方法。但し、この場合、理化学研究所に対し、秘密情報の内容範囲に関し書面等による確認を行うものとする。

(2) (1)の情報に基づき行われる審議の内容及び同情報に基づき事務局が本目的のために作成する資料。

(3) 我が国の国家的な目標と長期戦略を実現するための機密。

(4) (1)から(3)にかかわらず、次に該当するものについては秘密情報から除外する。

(ア) 提示された時点で既に公知の情報。

(イ) 提示された後に公知となった場合は、公知となった時点以降における当該情報。

2. 秘密情報の取り扱い方法

秘密情報の内容が記録された書面等(以下、秘密資料という)は、原則として、本作業部会の会議においてのみ使用する。但し、本作業部会の委員が秘密資料を会議の場以外の場所又は会議開催時以外の時間において確認する必要がある場合、主査が文部科学省において閲覧することを認めるものとする。

3. 雑則

本決定に定めるもののほか、秘密情報の取り扱いに関し必要な事項は、本作業部会主査が別に定めるものとする。